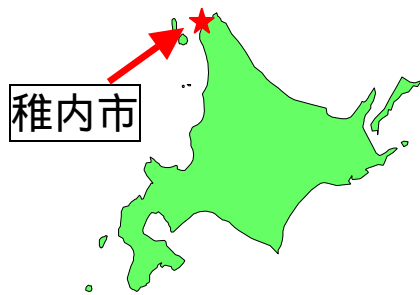


にぎわい、

北海道版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

会員だより



クルーズ船「飛鳥」が2回寄港!!

わっかないし

「稚内市」

・・・クルーズ振興で港湾振興・観光振興を・・・

8月31日と9月21日、日本最北の港「稚内港」にクルーズ船「飛鳥」が今年2度にわたり寄港しました。最初はチャーター・クルーズで、2度目は宗谷港寄港予定が高波のため寄港先を変更しての入港でしたが、準備をしていた歓迎のセレモニーは予定通り行われました。



入港後、乗船客は観光バスやタクシーなどで思い思いの観光へ出掛けて行き、その間に市民らからの公募などによる船内見学会が実施され「見学者」からはスケールの大きさと豪華さに感嘆の声が上がりました。

今後の観光物産振興にも一役担おうと、9月21日の入港時には試食コーナーが設けられ、



宗谷産の「ホタテ貝のつぼ焼き」「ホッケすり身汁」「モズクの酢の物」「磯つぶ焼き」「サケのチャンチャン焼き」「イクラ醤油漬け」など、新鮮な魚貝類でいっぱい！観光から戻った乗船客約350名は、なかなか口にするのできない新鮮な味わいに舌鼓し、感嘆の声が上がっていました。





また出港する時には「花火」の合図で珍芸「大黒ひょっとこ踊り」、地元保存会や小学生による「海峡太鼓」が披露され 100 名以上の見送り客から、「さようなら、また来てね!」と声かけられ、暮色の宗谷海峡を静かに汽笛を響かせ遠ざかって行く「動くホテル」からは「ありがとう!」「また来るよ!」との感謝の声が返ってきました。

今回のみなとでの取組みは、今年の春設立した「クルーズ振興連絡会議」が主催しました。本会議は、港湾の利用拡大を通じて港湾振興を図り、また、港湾振興を図りながら観光振興や物産振興を目指した「稚内港湾振興会」が行う事業の中に「クルーズ振興連絡会議」という規定を設けて取り組んでいます。

会議の参加者は、商工会議所、観光協会、物産協会、船舶運航代理店や交通機関、関係行政機関など 20 数団体あり、関係者が経費や労力を分担し、お互いの知恵を出し合いながら進めています。



今後「クルーズ振興連絡会議」では“港のあり方”などについて意見交換会の開催や、各種クルーズ船誘致の取組みなどを協議することになっており、港湾による観光振興から地域経済への一役を担えるよう活動を広げていく予定です。

【記事に関するお問い合わせ先】

稚内市 建設産業部 港湾課

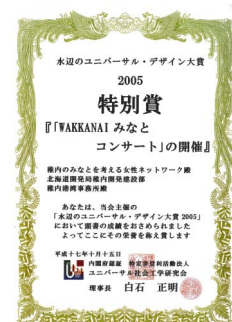
住所：稚内市中央3丁目13番15号

電話：(0162)23-6161

fax：(0162)24-2719



特定非営利活動法人ユニバーサル社会工学研究会 (NPO USER) が主催している、『水辺のユニバーサル・デザイン大賞2005』受賞者の発表が10月15日に行われ、稚内港の北防波堤ドームで開催された『WAKKANAI みなとコンサート』が見事、特別賞を受賞しました！



『水辺のユニバーサル・デザイン大賞』は、ユニバーサルデザインを基本コンセプトに、超高齢社会における“安全、快適でより高質な社会基盤”の向上、“地域の活性化”に寄与することを目指し、



社会が求める「水辺のユニバーサルグッドデザイン」とはどのようなものかを選考により希求実現していこうと言うものです。

稚内港北防波堤ドームは、稚内と樺太（現サハリン）を結ぶ定期航路の発着場を波浪から守るため昭和6年から11年にかけて建設された古代ギリシャ神殿を彷彿させる屋根付きドーム構造物であり、観光資産としての価値も高いことから平成13年度に北海道遺産、

平成15年度には土木学会土木遺産に選奨されています。

このような歴史的構造物を活用し、地域活性化に役立てようと「稚内のみなとを考える女性ネットワーク」は女性の視点から北防波堤ドームの重厚で価値ある土木遺産の天井や壁に楽器の音色や歌声を響かせ、ひいては観衆の心を共鳴させ、「最北稚内港の音」として日本全国に情報発信するイベントとして「WAKKANAI みなとコンサート」を開催しました。



コンサートは就学前の子供たちによる合唱からブルースバンド、ロックバンド、よさこいソーラン踊りまで6時間にわたり開催され、またこれに合わせて、「宗谷黒牛ハンバーグ、ホタテ、ツブ」等の地元特産物の販売・紹介も行われました。



このような、古くから地域に根付いた特徴ある施設を活用し、コンサートを開催したことは非日常の娯楽、地域活性化への寄与はもとより、地域住民に歴史的建造物の再認識を啓発し、地域における貴重な財産としての自覚を促す大変意義深いものであることが評価され特別賞受賞の運びとなりました。

是非一度みなさんも悠遠な音色を聞きに、稚内港へ来てみませんか。

【記事に関するお問い合わせ先】

稚内のみなとを考える女性ネットワーク

住所：稚内市末広5丁目5-1 FMわっぴー内

電話：(0162)32-0761

fax：(0162)32-0760



編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 事務局

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 調査係 黒川

Tel : 011-709-2311 (内線 5617)

Fax : 011-709-2147

E-Mail : kurokawa-s22aa@hkd.mlit.go.jp